

# 半田病院だより

193号

Handa byouin  
dayori

救命救急センター



## 半田病院にはドクターカーが配備されています

救急科 医師 石田 陽祐



半田病院は知多半島医療圏で唯一の救命救急センターとして、平成25年4月からドクターカーの運行を開始しました。現在運用時間は、平日（月～金曜日）の8：30～21：00です。ドクターカーとは、超音波検査等の医療機器や医薬品を搭載し、消防本部からの要請で医師や看護師が救急現場へ出動する緊急自動車のことです。命に危険のある緊急性の高い患者に対し医師が現場から治療を開始することで、地域住民の救命率向上や後遺症の軽減を目的としています。また、交通事故などの複



数の傷病者発生現場では、有効なトリアージ（重症度に基づいて治療優先度を選定すること）が可能となります。活動エリアは半田市及び阿久比町、武豊町、東浦町の近隣市町を主としていますが、知多半島医療圏内で大規模災害等が発生した場合には、当該区域を管轄する消防本部からの要請で出動します。地域の皆様が安心して暮らせるよう、これからも救急医療体制の充実に向けた取り組みに努めてまいります。

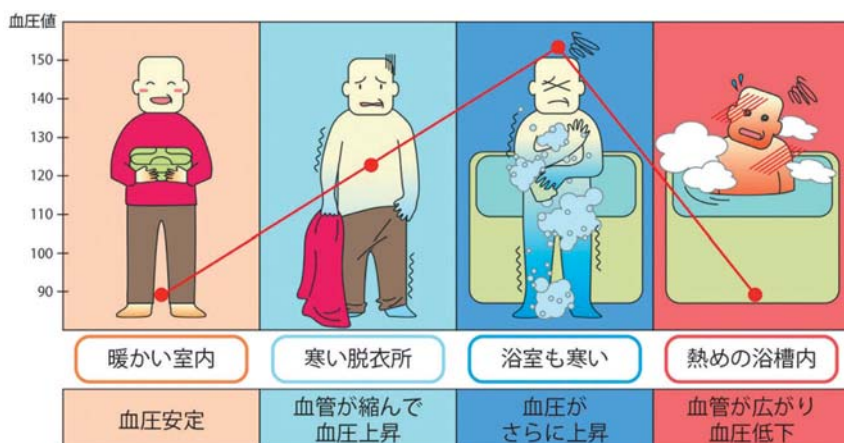
## 冬はヒートショックにご用心

救急科 統括部長 太平 周作



冬の時期は入浴などの寒い場所と暖かい場所の移動がしばしばあります。こういった外気温の急激な変化によって血圧が急激に上昇したり下降したり、また脈拍が急に速くなったりします。これをヒートショックといいます。

ヒートショックは体に大きな負担をかけるため、突然死の大きな要因となります。例えば急激に血圧が上昇した場合には脳出血や脳梗塞、心筋梗塞などが発症する恐れがあります。



逆に急激に血圧が低下した場合は脳貧血を引き起こし浴槽で溺れたりする危険があります。

入浴時の温度差が大きくなりがちな12月、1月は1年のうちで入浴中の突然死が最も増えるため注意が必要です。また、夜間のトイレも同様に注意が必要です。

## ヒートショックの 影響を受けやすい人

- 65歳以上
- 高血圧、糖尿病、動脈硬化の病気を持っている
- 肥満気味である
- 不整脈がある
- 自宅の脱衣所や浴室に暖房器具がない
- 「いちばんぶろ」に入ることが多い
- 熱い風呂が好き
- お酒を飲んでから入浴する

## ヒートショックによる 事故を未然に防ぐには？

- 脱衣所に暖房器具を置くなどして、入浴前に脱衣所を暖かくしておく
- 浴槽のふたをあけたり、服を脱ぐ前に浴室の床や壁に暖かいシャワーをまくなどして、浴室を暖めておく
- 湯船に入る前に、手や足といった末端の部分からかけ湯をして、徐々に体を温めていく



## 新任医師 紹介

10月からの  
新メンバーを紹介します。

### 脳神経外科

#### 松野 宏樹

令和2年10月より赴任となりました。脳神経外科の松野宏樹と申します。至らぬ所多いと思いますが、よろしくお願いいたします。



### 小児科

#### 野田 晴香

小児科の野田と申します。地域の小児医療に貢献できるよう日々精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



### 心臓外科

#### 松橋 和己

生まれ育った半田市、そして知多半島医療圏の皆様の心臓外科診療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



### 産婦人科

#### 角 真徳

産婦人科専攻医研修プログラムの一環として10月より半田病院で勤務することになりました。半田生まれで、半田高校を卒業し、半田に対する愛着は人一倍あるので、半田市民の健康と安全なお産のために少しでも力になれるよう頑張ります。



### 脳神経内科

#### 前川 朋也

令和2年10月より着任いたしました脳神経内科の前川と申します。長く健康に過ごせるようお手伝いをできればうれしく思います。



### 循環器内科

#### 川澄 俊貴

令和2年10月より循環器内科にて勤務させていただいております。もともと半田病院で研修医よりお世話になっておりましたが、半年間内科の専門医制度で異動となり戻ってまいりました。半田市およびその周辺地域の医療に少しでも貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



### 糖尿病・内分泌内科

#### 大竹 宏輝

10月より岡崎市民病院から異動となりました。半田病院は知多半島の様々な所から患者さんが来院するため、色々な話が聞けてとても楽しいです。



### 外科

#### 斉藤 大佑

安城更生病院から参りました。半年間という短い期間ですが、少しでもお役に立てるよう精一杯努めます。





新 年 の

ご 挨拶

病院長 石田 義博



明けましておめでとうございます。

新年にあたり、令和3年が皆様にとりまして素晴らしい年となることをご祈念申し上げます。

令和2年は新型コロナウイルス感染症で全世界が大きな影響を受けた年でした。日本でも東京オリンピック・パラリンピックが令和3年に延期となり、人と人との接触を制限するために社会活動が制約され、経済も大きく停滞しました。普段の生活でも、家から出る時にはマスクの着用が当たり前になり、リモートワークなど多くの人の働き方にも変化が生じました。現在、このウィルスを克服して以前の生活を取り戻すべく、ワクチンの開発が急ピッチで進められています。しかし、ワクチンによってこの疾患を制圧できるかどうかはまだ分かりません。完全な制圧はできないとしても重症化リスクを大きく減らすことができれば、オリンピック・パラリンピックの安全な開催や日常生活が以前に近い状態になることが期待されます。それまでは、3密を避け、マスクを適切に使用して、手洗いやアルコールによる手指衛生を心がける生活が必要です。

現在、半田病院では半田運動公園東側土地での令和7年春の新病院開院を目指して準備中です。同時に、新病院と近接することになる常滑市民病院との診療および経営の統合についての検討も行われています。背景には現在日本全体で推進されている地域医療構想があり、その中では近接する公立病院間の再編や統合の検討が求められています。新半田病院と常滑市民病院の間で進められている診療および経営の統合はこの国の方針に沿ったものです。新病院は市街地からは離れるため利便性はやや低下しますが、地域の皆様の命と健康を守る最後の砦となれる高い機能性を備えた病院となりますので、ご理解をお願いいたします。

新年を迎え、当院は知多半島医療圏における唯一の三次救急医療機関、がん診療連携拠点病院として、良質な急性期医療を提供できるよう今年も頑張りますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和3年1月

# 家で簡単 病院食レシピ

栄養科 鳥居 璃香

## タンドリーポーク

ヨーグルトをはじめとする発酵食品の製造には乳酸菌が使われています。

乳酸菌には腸内菌のバランスをとる働きがあり、便秘の改善だけでなく、免疫力を高めるなど、さまざまな効果があると言われています。最近では、特定の働きをする乳酸菌の研究も進められています。

今回は、ヨーグルトを使った病院食のレシピをご紹介します。

### 栄養価(1人分)

- エネルギー …… 236kcal
- たんぱく質 …… 12.0g
- 脂質 …… 17.3g
- 炭水化物 …… 5.1g
- 食塩 …… 0.7g

### 材料(4人分)

- 豚ロース …… 240g
- 塩 …… 少々
- コショウ …… 少々
- ヨーグルト …… 大匙4杯
- 穀物酢 …… 小匙1杯
- レモン汁 …… 小匙1杯
- ケチャップ …… 大匙2と1/2杯(40g)
- 酒 …… 小匙4杯(20g)
- カレー粉 …… 大匙1杯(6g)
- おろしニンニク …… 1/2カケ(5g)
- サラダ油 …… 適宜



### 作り方

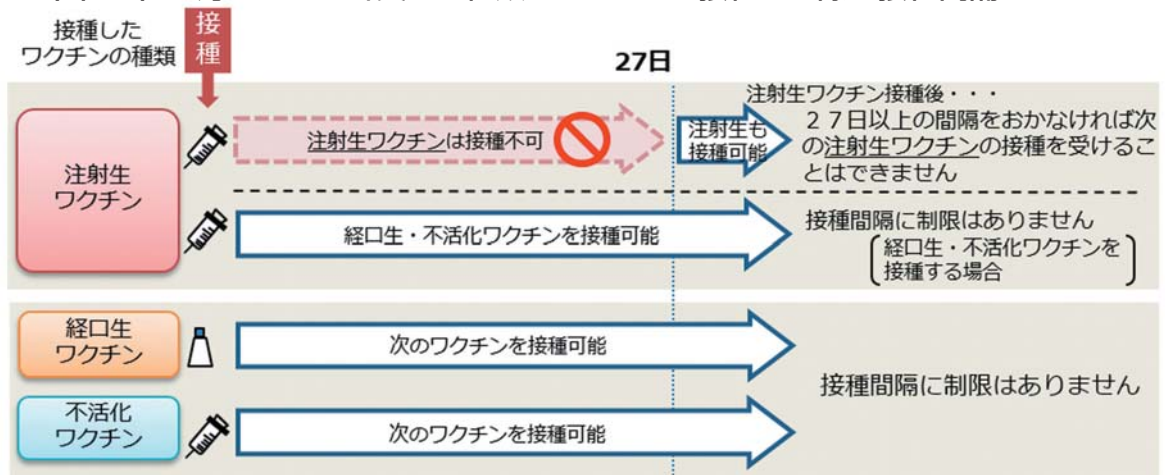
- ①Aの材料をビニール袋の中で全て混ぜ合わせます。
- ②豚ロースを①の袋の中に入れ、よく揉み込んだら冷蔵庫に入れ、2時間以上漬けこみます。
- ③熱したフライパンにサラダ油を敷いて、よく焼きます。

## 異なる種類のワクチン(予防接種)同士の接種間隔が一部変更になりました

これまで生ワクチン接種後は27日以上、不活化ワクチン接種後は6日以上の間隔を置かなければ次のワクチンの接種を受けることができませんでした。

令和2年10月1日から注射の生ワクチン同士の接種以外は接種間隔に制限がなくなりました。

### 令和2年10月1日からの「異なる種類のワクチンを接種する際の接種間隔のルール」



出典：厚生労働省ホームページ

### ワクチン Q&A

#### Q 生ワクチンとは？

A 生きた細菌やウイルスを繰り返し培養するなど、病原体が弱くなったものを選別して作ったものです。

例 MR(麻しん・風しん混合)、おたふくかぜ、BCG、水痘 など

#### Q 不活化ワクチンとは？

A 細菌やウイルスをホルマリン処理などによって毒性をなくしたものです。

例 ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、4種混合、日本脳炎、インフルエンザ など

#### Q なぜ注射生ワクチン同士は間隔をあげないといけないの？

A 生ワクチン同士は間隔を開けずに投与してしまうとウイルス同士が干渉し、十分な効果が発揮できない恐れがあるためです。また、副反応(熱が出る、腫れ・しこりなどが出来ること)が起こる時期をずらすためでもあります。

## 中央採血室よりお知らせ

令和3年1月4日(月)より、職員が今まで手渡しをしていた採尿コップが機械発行となります。

従来通り採血受付機に診察券を入れていただくと、採血受付番号と同時に採尿コップも機械から出てきます。そのコップをご自分で取っていただき、採尿をしてください。採尿コップを取ると診察券が返却されます。尿検査の依頼が無い場合、コップは出ずに診察券が返却されます。お困りの際には、受付の職員にお声かけください。

お手数をおかけしますが、よろしくお願い致します。

中央採血室

病院だより

**新** 病院コラム

その3



管理課 青木 賢治

前回、前々回のコラムでは、建物の設計業務についてのお話をしてきました。

今回は、病院の計画をするときのもう1つのパートナー、医療コンサルタント業務についてお話をしたいと思います。

「医療コンサルタントってどういうことをする人なの?」って思われる方も多いのではないのでしょうか。病院などの医療機関や製薬、医療機器に関連する方以外には、あまり馴染みのない言葉かもしれません。

医療コンサルタント業務についてネット等で検索してみると、新病院の開院支援や病院経営の改善指導などをする業務などとあります。

当院の新病院建設事業では、新病院の理念及び基本方針に沿った運営計画を策定する運営計画等策定支援業務や、新病院が提供する医療にふさわしい医療機器等を検討し、その整備計画を策定する医療機器等整備支援業務、そして、新病院が安全かつすみやかに移転できるための移転計画策定支援業務などを医療コンサルタントに委託しています。

設計事務所が、病院のハード面を整備するためのパートナーだとすると、医療コンサルタントは、ソフト面を整備するためのパートナーと言えるのかもしれ

ません。

そして、今回当院がパートナーとして選定した医療コンサルタントは、(株)システム環境研究所大阪事務所という会社です。これまでも、お隣の常滑市民病院や奈良県の県立奈良病院、兵庫県の加古川中央市民病院など、多くの病院の開院支援業務をしています。

今も当院や設計事務所と一緒に「いい病院」を造るために頑張ってくれています。

基本設計業務に着手して、早いもので9か月が経過しました。

現在、新しい半田病院の配置計画や平面計画、構造計画、設備計画などの大まかなものが出来上がりつつあります。しかし、まだまだこれからも検討していかねばならない課題もたくさんあります。

いよいよ今年は、施工予定者やエネルギーサービス事業者などを選定し、基本設計に基づいて建物を造るための詳細な設計をする実施設計業務に入っていきます。

令和7年春の新病院開院に向けて、関係者一同、全力で励んでいますので、どうか、温かく見守ってください。

半田市立半田病院 広報部会 (事務局 管理課)

〒475-8599 半田市東洋町2-29 ☎(0569)22-9881 FAX(0569)24-3253  
Eメール byouin@city.handa.lg.jp URL <https://www.handa-hosp.jp>



ホームページ



フェイスブック